

○付属資料

「丘陵地公園(中藤公園・観音寺森緑地・東大和芋窪緑地)の整備計画」中間のまとめに対する都民意見  
 東京都では平成24年12月に「丘陵地公園(中藤公園・観音寺森緑地・東大和芋窪緑地)の整備計画」中間のまとめを発表した後「都民意見の募集」を行い、3通のご意見をいただきました。皆様からのご意見を踏まえ、今回の答申とさせていただきますので、その概要を紹介します。

No.	ご意見	対応方針
1	<b>【公園計画に関する意見】</b> <b>2件</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備計画には概ね賛成</li> <li>・駐車場についてはアクセスを十分考慮して適切に配置したほうがよい</li> </ul>	○ゾーニングに照らしながら、駐車可能な空間の確保についても検討していきます。
2	<b>【施設整備に関する意見】</b> <b>4件</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源林に入る探勝ルートを検討してほしい。</li> <li>・生物保全エリアについては水辺環境の整備をもっと謳うべきである。池も現況は荒れているため、「整備、復元する」というような踏み込んだ表現が望ましい。</li> <li>・丘陵の持つ元々の雰囲気を保つよう、工法や素材に十分配慮してほしい。擬木柵などは趣がない。</li> <li>・活用ゾーンは最小限の拠点整備に留め、里山景観の保全を軸にイニシャルコストを抑えた整備としてほしい。</li> </ul>	○計画区域外(特に貯水池)への探勝ルート整備は貯水池の管理上の問題から困難です。 ○整備計画(3)①生物保全エリアに記載されているとおり、水辺の環境にも十分配慮し、趣旨を踏まえた整備をすすめていきます。 ○ご意見を十分に踏まえ整備をすすめていきます。 ○ご意見を十分に踏まえ整備をすすめていきます。
3	<b>【管理や運営等に関する意見】</b> <b>2件</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保全ゾーンについては保全計画を策定し維持管理の道筋をつけてほしい</li> <li>・手付かずに残る北側の水源林と市街地の間に位置する計画地は、適度に人の手を加え、自然度をなだらかに変化させると良い。</li> </ul>	○整備計画の(6)管理運営に記載の管理運営計画で公園の管理や運営についての方針を示すほか、(4)の植生管理に記載した維持管理計画において具体的に検討していきます。 ○樹林地にかかる保全の整備や維持管理計画を検討する際に参考とさせていただきます。
4	<b>【その他】</b> <b>2件</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大和芋窪緑地の墓地計画地について、プレパーク事業を適用するなどして、速やかに土地の公有化を図るべきである。</li> <li>・土砂の不法投棄地は、当事者にしかるべき対応を求めた後、里山保全のために活用する計画にしてほしい。</li> </ul>	○地元市とも調整を図りながら、都市計画公園・緑地の整備方針(平成23年12月改定)に基づき計画的に事業を進めていきます。 ○不法投棄された土砂への対応については、現在西部公園緑地事務所ほか関係部局にて進めており、今後、整備計画に基づき整備を進めていきます。